

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

昨年は本会ならびにユニバーサルデザインフードにとって大きな出来事がありました。本会は2002年の設立以降、食べやすい食品を必要とされている皆様へユニバーサルデザインフードをお届けして参りましたが、あらたに「UDF 拡張規格」の運用を開始いたしました。本規格の趣旨は、従来のUDF自主規格に適合しないものの、同様の一般食品に比べて食べる力が弱まった方にも食べ易く開発された食品に対して、UDF マーク表示の対象範囲を拡張することにあります。一例としては、アイスクリームやチョコレート、キャラメル、せんべいなど、温度（体温）や水分などの喫食条件が加わることで従来のUDFの4区分と同程度の食べやすさとなる食品が対象となります。本件の審議には多くの歳月を要しましたが、これにより普段ユニバーサルデザインフードをご利用の皆様の食生活が一層豊かなものとなることを願っております。今後同規格を活用した製品が増えて参りますことにご期待ください。

また、本会が普及啓発事業の一環として継続して取り組んでいる「7月11日はUDF（ユニバーサルデザインフード）の日」記念事業について、昨年も実施いたしました。今回は、都心部の主要私鉄における車内ビジョンへのコマーシャル放映を計3週間に渡り行った他、SNS（InstagramやFacebook）などインターネットを活用し、介護に関連するキーワードを発信、検索された方々に対して、本会ホームページにて合わせて実施いたしましたプレゼントキャンペーンを積極的にご案内いたしました。これにより、昨年度を大きく上回る皆様にUDFに対するご関心を持ってご応募いただくことができました。

さて、本会では6月にUDF生産統計を公表しており、例年2ケタ成長を継続していることをお伝え

しております。2019年のUDF生産統計では、生産量241.5%、生産金額150.3%と前年に比して大幅な増加となりました。また、会員企業数についても昨年12月現在、88社と過去最多を更新いたしました。政府発表の令和2年版高齢社会白書によると、我が国の高齢化率は28.4%（2019年）とさらに増加を続けており、我々介護食品業界の果たすべき役割の重要性をあらためて痛感しております。

本会では、日ごろの活動を通じて、ユニバーサルデザインフードをより多くのお客様にお知らせし、安心して普段の食生活の中でご利用いただけるよう、会員企業とともに今後も一層の努力を行ってまいります。引き続き、関係各位へ益々のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、一日も早いコロナ禍終息を願うとともに、感染症対策に取り組んでいる医療関係者の皆様に敬意を表し感謝を申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

2021年元旦

日本介護食品協議会
会長 森 佳光

【UDF 商品登録状況（2,032品目・11月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	11	4	0	95	110
冷凍食品	289	259	706	20	0	1,274
常温食品	180	120	201	146	1	648
合計	469	390	911	166	96	2,032

【会員の異動（11月）】

計87社（11月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集していません。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2
翔和神田ビル3階
TEL 03-5256-4804
FAX 03-5256-4805
<https://www.udf.jp/>